

「令和3年度

ふれあい看護体験報告」

「5月12日は看護の日 看護の心」をメインテーマに今年もふれあい看護体験が県内33施設で実施予定でした。しかし、コロナ禍の中、最終的に実施する事ができた施設は13施設となりましたが、183名の方々が参加することができました。

各実施施設では、徹底した感染症対策を行なった上、短い時間の中で工夫を凝らしたプログラムの体験を通して、看護のすばらしさや理解を深める内容の取り組みをしていただきました。

参加者の感想からは、「実際に体験する事が出来て看護師になりたい！という思いが強くなった」等の感想とともに、実施施設への感謝の言葉や防護服を実際に着用しての感想等が多く聞かれ、有意義な時間を過ごせたようです。

13施設 参加者 183名

小学生 3名

中学生 10名

高校生 170名



神経を研ぎ澄まして…



着用はとても
大変！！



実施施設担当者からの感想と実施内容

- ・病棟体験はできませんでしたが、看護部のDVD視聴や手術室見学、患者体験、他部門の見学を行い看護師の役割について説明をする。体験できて良かったとの声が聞かれた。
- ・検温や採血、ガウンテクニック等の体験や看護師の仕事や看護師になるためにはどうしたら良いかのプレゼンテーションを行う。
- ・感染対策に配慮した上で、院内見学・手術室での手洗いの実施、感染防護服の着脱経験などを行った。興味深く、見たり聞いたりしていた。
- ・コロナ禍でZOOMという形での開催となり、声が聞こえづらい等のトラブルもあったが、参加者から「参加して良かった」という感想を聞くことができた。また、今後ZOOMで開催する際の改善点も見つかり今後活かして行きたいと思った。

参加者からの感想

- ・普段病院に来たら絶対に見られないような病院の重要な部分を見ることができ、医療に対する考え方も変わりました。
- ・一人の患者を多くの医療従事者が支え笑顔にしていることを一日の体験を通して感じました。
- ・自分が車椅子に実際に乗ってみて、車椅子を早く押されると意外と怖い事が体験を通して分かりました。
- ・体験や見学だけでなく、進路についての話も聞くことができ良い機会となりました。
- ・実際に患者さんの立場になって心電図・血圧・酸素濃度を測ってもらう経験ができ良い経験になりました。
- ・実際に病院での体験を楽しみにしていましたが、コロナの影響で ZOOM での体験となりましたが画面越しでも沢山勉強になりました。
- ・新人さんの話を聞くことで、自分もしっかりと目標を立てそれに向かって努力しようと思いました。
- ・体験を通して命の大切さを実感することが出来ました。
- ・コロナが流行している中でコロナに負けずに患者さんに対応している医療従事者の頑張りに感心させられました。
- ・体験では立ちっぱなしの作業が 2 時間だけでしたが、看護師は毎日ほとんど立って作業をしていると思うと大変な仕事なのだと実感しました。

ドキドキ
ワクワク
体験



緊張します



ふれあい看護体験実施施設一覧 13施設

奄美中央病院	今村総合病院
医療福祉センターオレンジ学園	鹿児島厚生連病院
肝属郡医師会立病院	霧島市立医師会医療センター
国分生協病院	済生会川内病院
昭南病院	川内市医師会立市民病院
種子島医療センター	垂水市立医療センター垂水中央病院
名瀬徳洲会病院	

※実施施設の皆さん、ご協力大変ありがとうございました。